



イラスト・題字：長峯亜里

多くの個人が支える国立公園

アメリカは熱波に襲われている。カリフォルニアのヨセミテ国立公園の近郊でも山火事が起こり、一時国立公園への道路が閉鎖されたり、煙による大気汚染注意報が出ていた。

アメリカには計 63 の国立公園がある。太古の自然が残るヨセミテのほか、760 以上の湖や氷河が見えるグレイシャー・ベイ（アラスカ州）、首都に近く景観を誇るシェナンドー（バージニア州）、熱水が吹き上がるイエローストーン（アイダホ、モンタナ、ワイオミング州にまたがる）、世界遺産にも指定されている世界最大規模の渓谷グランド・キャニオン（アリゾナ州）など、広さは合計約 19 万 6000 平方キロメートルと日本の国土の半分にも及ぶ。

いくらアメリカが広大な面積を有するといっても、これだけの土地を都市開発、地下資源の採掘やダム建設などから守り、管理し、国民に開放し続けるのは容易ではない。経済発展と自然保護の攻防もあれば、保護すべき土地の確保や管理にかかる費用の手当ても楽ではない。国立公園という概念を生み、法制化し、世界で最初の国立公園を誕生させたのはアメリカだ。そしてこの雄大で、資金のかかる構想を多くの個人が支えてきたのもいかにアメリカらしい。

その中でも石油という、今では環境の大敵とみなされる資源を商いにし大富豪となったロックフェラー族は国立公園や自然保護と深い関係がある。例えば多彩な植物や絶景が楽しめる人気の高いグレート・スモーキー山脈国立公園（ノースカロライナとテネシー州にまたがる）は創業者の息子が「母の美しい心を汲んで」と 500 万ドルを寄付し、私有地を買い上げ国に寄付したことで誕生した。

巨大な富と自然への深い想い

ジョン・D・ロックフェラーが創設したスタンダード・オイルは一時期世界最大の石油会社で、ロックフェラーはアメリカ初の億万長者だった。1863 年、弟や知人たちと設立した投資組合（パートナーシップ）による石油精製工場を前身とし、1870 年に設立された。石油精製部門の水平統合、その後、垂直統合を行い、巨大ビジネスとなったが、それが災いし、州政府や連邦政府から独占体制にメスが入るようになった。1882 年以降、傘化の企業を支配下に納める信託を活用したが、反トラストの流れが強まり、1911 年に最高裁の命令により解体を余儀なくされた。

ロックフェラーはアメリカ経済の 2 % ともいわれる遺産を残すほどの大金持ちだったが、妻のローラ・スペルマンは教育者であり慈善家で